

山の日情報

(第 30 号)

令和3年7月29日

秋田県生活環境部
自然保護課

【活動記録】

令和3年度の第2回目のボランティア事業を7月17日(土)に行いました。

今回の作業場所は秋田駒ヶ岳周辺で、角館高校山岳部、大曲高校登山部、大曲工業高校ワンダーフォーゲル部、十和田八幡平国立公園の南八幡平地区パークボランティアなど、計54名もの方々が参加してくださいました。

人数も多いことから、作業は2班体制とし、1班は休暇村コースの整備、2班は笹森山付近の木道の簡易補修と休暇村コースの刈払いを行いました。

【1班の作業】(参加者：角館高校、大曲工業高校、パークボランティア など)

ところどころ、通行の邪魔となる倒木や折れた枝が見つかったため、それらを寄せて、歩きやすくしながら登っていきました。ごみが落ちていないかも確認しながら登りましたが、ほとんど見つからず、きれいな環境が保たれていることが確認でき、嬉しくなりました。

笹森山付近で昼食をとった後は、2班のボランティアの方々が刈り払ってくださった草を登山道脇に寄せつつ、下山します。登ってきた時はところどころヤブが見られましたが、刈払いにより大幅に歩きやすくなり、刈られた草も脇に寄せることで快適な登山道に整備することができたと思います。



倒木を寄せる参加者



刈り払われた登山道の様子

【2班の作業】(参加者：大曲高校、パークボランティア など)

まず八合目から笹森山方向に向かい、笹森山の手前で木道の簡易補修をするグループと、休暇村コースの刈払いを行うグループに分かれました。

笹森山周辺は、周囲に高山植物の花も見られるきれいなところですが、ところどころ木道が崩れてしまっているところがあり、これらを直して行くのが木道の簡易補修グループの目的です。周囲の石なども活用しながら、スコップやかすがいなどを用いて補修し、歩きやすく整備していきました。

一方、刈払いを行うグループは、ヤブ化している箇所を刈払い機で刈っていきます。厳しい暑さの中での重労働となりましたが、効果は絶大です。作業前はチクチクと肌

に刺さるような草（アザミ）もありましたが、そうした状況も解消され、登山者に優しいコースに整備することができたと思います。



木道の補修作業の様子



補修した木道の前で記念写真

【下山後】

下山した際には、嬉しいサプライズが待っていました。角館高校山岳部の父兄の方が、冷たい水などを参加者に差し入れてくださり、汗だくの参加者からは喜びの声が上がりました。この場を借りて、お礼申し上げます。

全員が下山した後は、1班と2班で記念撮影をして、解散となりました。



1班 集合写真

2班 集合写真



なお、このボランティア事業において、今年も、明治安田生命相互保険会社秋田支社様が参加者に飲み物を提供してくださっています。この場を借りて、ご支援に感謝申し上げます。